

こむの事業所 2022 年度事業報告書 (2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

2022 年度は、前年度に引き続き新型コロナ感染の影響を被り、事業活動全体に縮減の圧力がかかりました。とりわけレストランこむず及びこむの市場は、厳しい経営環境にさらされましたが、年が変わって以降は、社会活動を元に戻す機運が高まり、事業活動もコロナ前のレベルに少しずつ戻りつつあります。

そのような試練の連続であっても、スタッフの士気は衰えることはありませんでした。チームワークは如何なく発揮され、めふプラザの給食提供が無くなったあとをカバーするなど既存の事業の立て直しを果たすとともに、農福連携事業として黒大豆枝豆の加工製品化事業などの新しい取り組みにもチャレンジしました。

これらの活動を通して、スタッフの職業能力を高めるとともに、一人暮らしやグループホームでの生活を後押しして実現するなど、自立した日常生活の充実にもつながっており、文言を新たにした事業所の理念「みんなで楽しく、働き暮らす」に着実に向かっています。

一方、地域社会との連携も研修室などの利用が活発になってきたことで、つながりが再び広がりつつあり、こむの事業所の存在が確実に地域に根を張っていることを実感しています。

また居住支援についても、深刻な生活上の危機から逃れる人々の避難の場となっており、地域社会を下支えする社会資源として定着しています。

1 ビル管理事業

(清掃部門)

(1) 公共施設清掃の受託

前年度に引き続き宝塚市立老人福祉センター・大型児童センター（フレミラ宝塚）の清掃を指定管理者である宝塚市社会福祉協議会から、宝塚市立健康センターの清掃を宝塚市から受託実施しました。

(2) 民間施設などの清掃

隣接するフレミラ宝塚に続けてこむの事業所の清掃も就労支援事業として実施しています。その他市内 2 か所のマンション及び療護施設はんしん自立の家の清掃も実施し、午後の業務としてできることから、ひとり一人の労働時間を増やすことにつながりました。

(駐車場管理部門)

(1) 駐車場管理業務

福祉コミュニティプラザ内の約 100 台の駐車場の管理を財団法人プラザコムから受託し、機器の点検、料金の収受及び利用案内などの業務に障害者スタッフが従事しました。

駐車場の仕事は、清掃や調理など他の仕事がしにくい障害のある人の貴重な仕事になっています。

(2) 機器の破損

利用者の運転ミスによる駐車場機器の破損事故が 2 件発生しました。いずれも加害者の保険等により修復されました。

(3) 利用料金の減少

コロナ感染の影響を受けて隣接施設の利用者が減少したために、駐車場利用料金も大幅に減少

しました。

隣接の施設利用者数は回復しつつありますが、駐車場利用者の回復は、ゆるやかなものになっています。

2 食事サービス事業

(レストランこむず)

(1) 来客数の回復

コロナ感染の影響により減少していた来客数も、年末にはしえあきちゃんが閉店したこともあり、急速に回復しています。

(2) 予約利用の展開

また食事等を提供する研修室その他の予約利用も増えるとともに、単価の高い特別メニューを予約する団体も増加しており、今後は、調理やサービス態勢を整えることにより、パーティ等の利用を進める可能性が出てきています。

(給食事業)

(1) 施設給食

2022年度は、育成事業所、スイッチオン伊丹、スイッチオン宝塚、こむの事業所の給食を提供しました。

(2) 提供食数の増

コロナ感染による施設利用の減少のために、提供食数も減少する事態が生じていましたが、感染者数の減少とともに回復しています。

(菓子製造その他)

(1) 焼き菓子等製造販売

宝塚フィナンシェ等焼き菓子、ジャムを製造販売するほか、蜂蜜、チョコレートも瓶詰等を行いこむの事業所ブランドで販売しました。

(2) 黒大豆枝豆製品化試行

兵庫県阪神農業改良普及センターの委託により、黒大豆枝豆の規格外品を使った製品化に取り組み、枝豆丁稚羊羹やプリンなど試作したほか冷凍枝豆の製品化にも取り組み、宝塚市立中学校給食の食材として提供しました。

3 こむの市場事業

(1) 生鮮野菜・加工食品の販売

こむの市場の収支は、近年厳しい状況が続いてきましたが、仕入れ商品の開拓や販売努力により若干の改善をみました。

4 システム開発事業

(1) フレミラ宝塚予約システムの受注

フレミラ宝塚の会議室等の予約システム及び災害ボランティアコーディネートシステムを受注開発するとともに関西学院大学の実習登録システムのメンテナンスも行ったことにより、今まで

にない収益をあげることができました。

5 その他

(1) 住居支援

2022年度の住居支援の利用実績は7件266日となっており、2020年度が16件627日、2021年度が13件452日の利用があったことと比較すると大幅な減少傾向がみられます。その原因が一時的なものか、あるいは社会資源が整ったことなど何らかの環境の変化によるものなのか、背景を明らかにしたうえで今後の運営の在り方を検討する必要があります。

(2) アトリエの利用

現在アトリエ全体では、システム開発及びエビス面描き作業に使用するほか就業後の障害者スタッフの休憩と帰宅待機の間として活用しています。

また、こむの事業所から自立した障害者スタッフが、培ったスキルを活用してパソコン修理の工房として使用するほか、総合福祉センターの改修工事に伴う障害者団体連合会の臨時事務所として供与しました。

そのほか月2回開催いただいている絵画教室としても利用しています。

(3) 研修室、教室の利用

2022年度下半期には、コロナ感染のため大幅に減少していた研修室、教室の利用が回復しました。感染防止措置に伴い、利用を制限せざるを得ませんでした。ワクチン接種も進んだことから徐々に利用も進みつつあります。

(4) トレーニング室の利用

コロナ感染予防のためマスク箱詰め等の作業室として利用してきましたが、社会生活の回復に併せて運動室としての利用を進めつつあります。

(5) 障害者就労・生活支援センター事務所貸付

社会福祉法人宝塚さざんか福祉会が宝塚市の委託を受けて運営する障害者就業・生活支援センターについては、障害者等の就労について、2022年度は6,694件の相談を実施し、52人が就職しました。

(6) 成年後見センター事務所貸付

NPO法人宝塚成年後見センターが行う高齢者・障害者の法人後見等について、2022年度は面談をはじめ福祉サービス利用支援など1,279件の支援サービスを行ったほか18人の法人後見を行いました。

(7) 農福連携（寄附事業）

地域の農家の支援をもらいながらサツマイモを栽培、収穫するとともに、耕作放棄地対策として地元と協働してイチジクの苗を作付けしました。

事業実施に関する事項

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	ビル管理事業	通年	宝塚市立老人福祉センター・大型児童センター、こむの事業所 宝塚市売布東の町 12-8、9 宝塚市立健康センター 宝塚市小浜 4 丁目 4-1 宝塚市立口腔保健センター 宝塚市小浜 2 丁目 1-30 福祉コミュニティプラザ駐車場 宝塚市売布東の町 9 番地内	22 人	障害者 14 人 就労要支援 6 人	19,900
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	食事サービス事業	通年	宝塚育成事業所内厨房 宝塚市安倉西 4-1-7 こむの事業所 宝塚市売布東の町 12-9	14 人	障害者 6 人 就労要支援 1 人	26,974
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	こむの市場事業	通年	こむの事業所 宝塚市売布東の町 12-9	3 人	障害者 2 人	10,307
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	システム開発事業 他	通年	こむの事業所 宝塚市売布東の町 12-9	1 人	障害者 1 人	4,028
障害者等の地域移行及び一時的に住まいの困難を抱える人への住居支援に関する事業	住居支援事業	通年	こむの事業所 宝塚市売布東の町 12-9	1 人	7 件	2,839